テーマ：プロジェクト学習を活用した「学生の意志ある学び」への取り組み

カテゴリー：③教育方法（授業・演習・実習）
学校概要：学校名：横浜市病院協会看護専門学校　所在地：横浜市港南区港南台３－３－１　課程名：3 年課程
1 学年定員数：80 名　修業年限：3 年
「内容」自身の描いている看護学生としてのビジョンを明確にし、そのビジョン達成を図るために役立つ方法を見出すゴールを設定して第1学年では、「健康を守る方法を見出すプロジェクト学習」を、第3学年では「より良い看護の方法を見出すプロジェクト学習」を取り入れた教育活動を行っている。この学習をとおして、ビジョンを描ける力、目標設定力、情報獲得力、課題発見力、課題解決力、プランニング力、時間把握力、俯瞰力、省察力、プレゼン力などの多くの力を獲得する機会になることを期待し継続している。最終的な作品は知の共有を図る発表機会を設け、他者にも役立つより良い看護の方法を提案する経験を意図している。第3学年のプロジェクト学習では他学年も発表会に参加して意見交換している。
・経緯：看護師という専門職業人として、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力の育成が求められた前回の看護基礎教育課程の第4次改正を契機に、学生が自ら気づき、自ら学び成長していける力をつけることを目標に、学生の「意志ある学び」の一つとして平成25年度から取り入れ今年で10年目を迎え、第3学年のプロジェクト学習では教員の指導体制も少人数制を確保できるように発展してきた。
・令和4年度の第3学年におけるプロジェクト学習の取り組み内容

	項目	内容
実習前	準備、ビジョン・ゴール 情報収集、計画	4～5名グループに1名の教員が指導　ガイダンス ビジョンとゴールを決める
実習中	情報収集、計画、実施、 経験の振り返り、新たな発想	価値ある情報をポートフォリオしながら省察 担当教員とゼミ形式で計画・考察共有
前半実習終了後	経験の振り返り、整理、 情報収集、解決策制作	価値ある提案を見出す整理・省察 まとめの原稿作成　指導を受ける
後半実習中	グループ内プレゼン	他者のプレゼンからも学び、原稿仕上げ 担当教員とゼミ形式の添削指導を受ける
原稿提出	再構築	再構築　まとめなど
発表会	発表会	学年を超え、他者と知の共有を図る 有意義な意見交換　成長報告　ポートフォリオ
評価	成長確認	全工程を振り返り今後の自己成長に役立つ方法を見出し、ポートフォリオとして保存

・取り組みについての感想と評価（精神看護学専任教員：菊地一美　基礎看護学専任教員：野口理恵子）

ゼミ形式の指導場面では、自身が経験したことを語りながら患者の気持ち、実践した看護のありようを省察する貴重な時間を持てている。学生の思いや経験知を引き出す教員のコーチングや助言指導が学生の思考を促進し、自身の体験に価値を見出す学習を可能にしているため、この指導体制を確保できている点は大きな強みである。患者の言動の背後にあることは何かと思考を深め、情報を俯瞰して課題を発見するなど臨床判断力を高める教育機会になっていると感じる。プロジェクト学習開始から10年が経過し、教育方法や手法の検討と評価を検討する時期となっているが最終段階の成長確認では誰一人もれなく、自身の生涯学習の必要性を述べており、この学習が自ら学び成長していける力をつけることに役立っていると実感している。

